



おおいそ

# 議会だより

第136号

2006年(平成18年)7月27日発行



ここは何処？（答えは裏表紙に）

△6月定例会  
△第1回臨時会

駅エレベーターなど設置へ

2P

議員数 4名削減

4P

町政のここが聞きたい 一般質問

5P

輝いてます大磯人

12P

発行／大磯町議会 編集／議会だより編集委員会

〒255-8555 神奈川県中郡大磯町東小磯183 TEL 0463-61-4100 (内線281) FAX 0463-61-1991

ホームページアドレス <http://www.town.oiso.kanagawa.jp/> メールアドレス [gikai@town.oiso.kanagawa.jp](mailto:gikai@town.oiso.kanagawa.jp)

6月議会は1日から12日までの日程で行った。

町から提出された7件の議案のうち5件を可決し、1件を否決、報告1件を承認した。否決した議案は大磯駅バリアフリー化に関する補正予算。なお、初日冒頭、大磯駅バリアフリー化対策特別委員会の審査の継続をめぐって議論が紛糾し、議案審議に入ったのは午後になった。(詳細は3面に掲載)

また、陳情は5件を審査し、意見書を1件提出。議長不信任の決議案を可決した。

一般質問は13名が40問を行い、最終日に議員提案された議員数削減を可決した。

その後、6月30日に開催した第1回臨時会において6月議会で否決した大磯駅バリアフリー化事業の補正予算が提出され、出席議員全員が賛成し可決した。

△6月定例会  
△第1回臨時会

## 大磯駅バリアフリー化事業

# エレベーター エスカレーター

08年3月完成目指す!

## 駅バリアフリー化 ついに実現へ

6月30日に開かれた第1回臨時会で、3月議会から

懸案となっていた大磯駅バリアフリー化事業の補正予算(5千800万円)が全員賛成で可決し、9月着工の目途がついた。

この事業は本年3月に当初予算で削除され、6月議会でも否決となつた。しかし、国の交通バリアフリー法の補助対象事業であり、6月が申請の期限であることから、町は6月議会終了後、JRと事業内容の変更を協議し、了解を得たため臨時会を開き、議案として提出した。

6月議会から変更した内容は次の3点。

- ①町の負担分2億円を1億9千334万円に削減する。
- ②エスカレーターを時間帯で上り下り変更可能にする。
- ③今後ホームの屋根を延長することをJR本社に申請していく。

当日は傍聴者31名が熱心に見守る中で、2時間半に及ぶ審議が行われた。

## 臨時議会での質疑 ついに実現へ

6月議会と今回の提案内容の違いは。

JRとの協議の結果、町負担金2億円から666万6千円を減額した。エスカレーターの上下を切り替える、ホーム屋根の延長は前向きに検討するとの改善があつた。

第三セクターのモビリティ財團が事業執行するので議会議決はいらない。

工事契約は議会議決事項ではないか。第三セクターのモビリティ財團が事業執行するので議会議決はいらない。

工事契約は議会議決事項ではないか。第三セクターのモビリティ財團が事業執行するので議会議決はいらない。

文書交換はしていない。

工事契約の時に用いたい。

内容の違いは。

工事契約は議会議決事項ではないか。

第三セクターのモビリティ財團が事業執行するので議会議決はいらない。

工事契約は議会議決事項ではないか。第三セクターのモビリティ財團が事業執行するので議会議決はいらない。

### 賛成討論

平成20年3月に完成する予定。

平成20年3月に完成する予定。

エスカレーターの上下切り替え、ホーム屋根の延長をする努力などの3点の改善点が示されたので賛成する。

止めている。

計画案を早い時期に議会等と十分協議すべきだったと反省している。委員会から指摘された駅整備と駅周辺のバリアフリー化は、今後の課題と受け止めている。

今回、提案内容が変わった理由は。

19日の政策会議で、同じ議案は提出できない、再度JRと交渉すべきとの意見があり、20日にJRと再交渉した結果、3点の改善があつた。

審査しチェックするのが議員の役目。町は計画等の質問をJRに問い合わせしなければ回答できず、今回の改善提案は小さな一步だが、これまでの議員・市民の意見が反映した意義は大きい。胸を張って賛成する。

3点の改善についてJRから文書回答はあった

◆ エスカレーター、エレベーターと障害者のトイレスの願い。賛成する。



# 議員数 4名削減へ

議会最終日、議員数を4名削減し14名とする条例改正の議案が、賛成11・反対5の賛成多数で可決した。

提出者は柴崎議員他3名。

提案の趣旨は「少子・高齢化が進む日本の将来はまたにきびしく、大磯町としても行財政改革の推進が焦眉の課題である。行政を指導する議会としては、自らの組織について

厳しい認識を示し、定数が削減されても、議決機関としての責務を遂行し、より効果的な議会運営を行うべきである」というもの。

「趣旨はよいが、せっかぎる。反対。まず議員活動やあり方を検討し合って、次回選挙までに決めるべきだ」「町民の代弁者としての役割を果たせなくなる」などの反対意見もあったが、多

数が提案の趣旨に賛同した。次の通常選挙から行う。

## —提案者への質疑—

問 これ以上の議員削減は議会制民主主義を脅かす。

答 審議の仕方を変えれば出来ること。削減されたお金は町民サービスに使われればよい。

任期満了のため同意が提案され賛成多数で可決した。  
仲川元秋さん（63歳）  
西小磯在住

**監査委員に仲川氏**

同意が提案され賛成多数で可決した。  
及川昭男さん（48歳）  
東小磯在住

## ■指定管理者制度導入の準備開始

指定管理者制度を導入できるように、町の施設等の管理委託、運営事務委託規程を一部削除した。主な対象施設は、町立の地域会館など。

## ■まちづくり基本計画書が出来上がる

基本計画書300部、概要版1,000部の納入が4月25日に完了し、繰越額194万2,500円を支出した。

## ■耐震診断適合住宅に減額措置が

住宅を耐震改修し耐震診断適合住宅になった場合は、申告で固定資産税の減額になる。

## ■国民健康保険税の負担が変わる

国民健康保険税のうち、介護納付金課税分（介護2号保険料）の課税限度額を8万円から9万円に引き上げる。公的年金等控除の見直しに伴う国民健康保険税の負担を緩和するため、平成18、19年度に段階的軽減措置がある。他

## 賛否結果

### 【6月定例会】

議案番号	議案名（議席順）	議員名（議席順）														結果			
		百瀬恵美子	奥津勝子	土橋秀雄	山田喜一	吉川重雄	清水弘子	鈴木京子	坂田よう子	高橋英俊	柴山賢一	大坂聖子	浅輪いつ子	山口陽一	柴崎茂	高橋正克	渡辺順子	竹内恵美子	
27	専決処分の承認を求めるについて	代	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	●	欠	○	○	可決
28	専決処分の承認を求めるについて	代	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	●	欠	○	○	可決
29	大磯町立の福祉館条例等の一部を改正する条例	代	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	●	欠	○	○	可決
30	平成18年度大磯町一般会計補正予算（第1号）（大磯駅バリアフリー化事業）	代	○	●	●	●	○	○	●	○	●	○	○	●	●	欠	○	●	否決
31	監査委員の選任について	代	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	●	欠	○	○	可決
32	固定資産評価審査委員会委員の選任について	代	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	欠	○	○	可決
33	大磯町議会の議員の定数を定める条例の一部を改正する条例	○	○	●	●	○	○	●	○	○	●	○	○	○	●	欠	○	●	可決
	大磯駅バリアフリー化対策特別委員長報告（継続）	●	●	○	○	○	●	○	○	●	○	●	●	○	●	欠	●	○	否決
決議案第1号	大磯町議長の不信任決議	代	●	○	○	○	●	○	○	○	●	●	○	○	●	欠	●	○	可決
意見書案第2号	障害者自立支援法の障害程度区分認定の改善を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	欠	○	○	可決

### 【第1回臨時会】

34	平成18年度大磯町一般会計補正予算（第1号）（大磯駅バリアフリー化事業）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	可決
----	--------------------------------------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	----

○は賛成、●は反対、代は議長代行、欠は欠席

※135号掲載の議案第19号「大磯町介護保険事業特別会計予算」賛否結果について訂正します。【山田議員 ○(誤)→●(正)】

# 町政のここが聞きたい

一般質問13名40問 文責は本人

町長政策は町民への裏切ではないか

中身を正確に吟味していいない

吉川 重雄

三沢町長が町長選に立候補された時の「三沢たつおの政策」の中で片野町長のもとでは町の財政難は一向に改善されず、借金が30億円も増えていると批判された。30億円は何をもっての指摘か。

町長 30億円の金額はリーフレットに協力した人がちょっと計算したので正確には吟味していない。今回、町職員に計算させたら20数億円ということで間違いました。

問 今の町長の答弁は大変な問題です。自分の公表した政策を吟味していない。

それは町民へのごまかしです。町長が自分の公約を吟味していないことは、明らかに町民に対する裏切りではないですか。町民の方々はこの政策を見て、読んで三沢さんならやつてくれる投票されて、当選されたのですよ。私が4年間で町長の借金をした額を聞いても答えず、18年度予算説明



町長の政策チラシ

問 三沢町長が町長選に立候補された時の「三沢たつおの政策」の中で片野町長のもとでは町の財政難は一向に改善されず、借金が30億円も増えていると批判された。30億円は何をもっての指摘か。

町長 30億円の金額はリーフレットに協力した人がちょっと計算したので正確には吟味していない。今回、町職員に計算させたら20数億円」ということで間違いました。

問 今の町長の答弁は大変な問題です。自分の公表した政策を吟味していない。

それは町民へのごまかしです。町長が自分の公約を吟味していないことは、明らかに町民に対する裏切りではないですか。町民の方々はこの政策を見て、読んで三沢さんならやつてくれる投票されて、当選されたのですよ。私が4年間で町長の借金をした額を聞いても答えず、18年度予算説明

書で見ると33億1千140万円になる。町長は人を批判した数字は吟味していない間違いましたと、自分のする借金の額は答えない。公約の中味を吟味しないで平然と選挙の公約として出す、こういう態度が町長になって現在まで脈々として進んでいる。答弁がないので指摘しておきます。

保育園民営化のスケジュールは19年4月移管はもう無理

大坂 聖子



大磯保育園

問 平成17年4月にスタートした大磯町次世代育成支援地域行動計画の進行状況が公表された。この計画の進行管理をする場に子育て世代の方がひとりもない。町民への意見募集についてどう考えているのか。

町民福祉部長 公表しただけというのは好ましくない。子育て支援センター等に評議會だより

価内容を配置し、次世代地域協議会委員の意見も聞く。保育園の民営化について、横浜市立保育園の訴訟で地裁判決が出た。行政手続きの違法性を初めて認めしたことについての感想は。

町長 行政と住民が裁判で争う関係になることが大変不幸なこと。そのようなことにならないようにしていかなければならぬ。

問 移管のスケジュールについて、コスト比較の資料も出でいない、中身についての検討もまだ必要だ。応募事業者に的確な事業者がいない場合は予定を延期しても再度公募を行なうような慎重さが欲しいが。

町長 19年4月の移管はもう無理と私の立場でも表明する。保護者と事業者の対立だけではなく、子どもたちが不幸な事態になることは我々の責任で絶対に避けなければならないので十分配慮する。

5 おおいそ議会だより  
第136号 2006/07

## 国府学童の施設整備は進んでいるか

清水 弘子

### 国府小敷地内に 1 カ所で整備



国府学童

**企画担当参事** 町の活性化のための観光の拠点となるような調査委託を考えている。また、減免制度、歴史的建造物の保存支援制度等について研究していく。

**企画担当参事** 西武が県の方へ4月に要請した。

**企画担当参事** 県では仮称大磯近代歴史文化公園ゾーンの形成に

は進んでいるか。  
②月京幼稚園及び北側の敷地について東海大学病院との交渉は。

**町長** ①現在、国府学童保育会は国府小の特別教室及び月京幼稚園の余裕教室の2カ所を利用して運営。安定期した運営場所を確保するために、国府小敷地内に専用の保育施設を整備し、1カ所での保育を検討する。

今後の施設整備内容は、国府学童保育会、教育委員会、国府小学校、PTA保護者、近隣住民と協議しながら、よりよい施設になるよう進める。

②東海大学附属大磯病院

下水道計画は、  
**その他の質問** 西部地域の

**教育長** 国府学童の施設を国府小敷地内で検討していくことに、教育委員会として全面的に協力する。

**町長** 本年度予算の200万円の

使用目的は。

本年度予算の200万円の

## 旧吉田邸の今後の取り組みは

竹内恵美子



旧吉田邸

**企画担当参事** 県の方も積極的に動き出して、近代文化ゾーン邸園文化圈構想は県のほうから町も一緒に検討してほしいという投げかけはある。

**企画担当参事** 国が民間に委託しているので6月半ばには國の方へ。7月には何らかの答えが町の方へくる。

町としてできることは負担していかなければならぬ。



芦添公園

## 町の特色ある公園づくりを問う

奥津 勝子

### 地域と協働の体制で検討

問 第四次総合計画内の自然環境保全に対する取り組みの一につき、特色ある公園づくりはあるが、第三次から未完了事業として、既存公園のバリアフリー化もある。そこへのお考えは。

都市整備部長 38カ所の街等への配慮は。

検査、公園利用の注意看板

区公園の約半数は、入口に段差がある。住民要望も聞きながら段差解消を。

問 新興住宅地、町営住宅建て替え地付近の公園整備、特にファンよけネット、砂の

都市整備部長 看板は隨時出来る所から。砂検査も定期的にするよう、より良く使われる公園づくりを検討。

問 都市計画的な設置目標と管理運営方法は。

都市整備部長 設置目標は2010年に3カ所。生きがい事

業団と老人連合会にお願いしている。公園、トイレ清掃は月2回、除草年3回、草刈年4回、その都度報告を受け、職員が現場を確認。

市民参加型、ボランティア団体等の地域協働による管理運営体制を検討。

### 防犯対策について

問 防犯啓発のため、共用車、協力車へのステッカーは。車からのアナウンスは。

町長 子どもSOS、見守りう大磯町のシールは貼付している。アナウンスは警察と協議し、前向きに検討。防災行政無線の活用は。

防災担当参事 利用する。

## 「寄付条例」で政策の財源確保を

渡辺 順子

### 前向きに検討していく

問 近年、住民や法人からの寄付を財源に政策を実施する「寄付条例」を導入する自治体が増えている。わが町でも、現存する歴史的建造物の保存や、大磯らしの景観を形成している緑地の保全などにこのような条例を導入してはどうか。

町長 現在町民からいただ

く寄付金は目的別に各基金が受け皿になっているが、現在の基金条例は寄付を募集する条例になつていいない。

また緑地保全にはみどり基金がその役割を担つてい

る必要性もあると思うが、歴史的建造物についてはいつどのような事態が発生するか分からないので前もつて準備を進めたい。

問 今町が進めている景観条例や景観計画との関連は。総務部長 平成20年度に策定予定の景観計画に合わせ

る必要性もあると思うが、歴史的建造物についてはいつどのような事態が発生するか分からないので前もつて準備を進めたい。



旧池田成淋邸

「旧吉田邸の保存」の決意と方策は  
国の方針決定を待つ

坂田 よう子



旧吉田邸

また、屋根はホームを完全にカバーしているため雨の時でもホーム上では傘をささなくてもよい。駅舎へのエスカレーターも時間帶で上り・下りに変更できるようになっている。2億円という大切な福祉基金を使ふからにはJRまかせでなく平塚方面にも降りられる

ようにする、平塚方面の屋根も伸ばすようすれば乗客は助かる。

工をめざして努力していく  
たい。

**その他質問** 遊休町有地の活用策は。運動公園の維持費用は。対話集会の目的と効果。職員人事は適材適所か。

**町長** 国からの総合的結果が示された時点で県と連帯し、具体策を検討。「旧吉田邸に関する調査委託料200万円は、県立城山公園の一部にすべき場合、観光スポットとしての可能性を調査し、観光整備に向かってほしい」と予算説明されたが、執行は、また、町が考えるべき固

**町長** 静かに待つ。  
歴史的建造物の保存・活用に向け、まちづくり審議会の答申を実現すべき。そこには、「寄付条例」や「邸園文化圏再整備構想」「大磯近代歴史文化公園ゾーン形成」等の具体策が既に示されていく。

にあると考えるか。

**町長** 大きな原因として計画当初から議員や多くの町民の意見を聞きながら作業を進めるという努力が足りなかつたと考えている。

**問** 特別委員会からの質問や提言に対しても町側が直剣に対応してこなかつたことも大きな要因である。

隣の一宮駅はホームへの

問 旧吉田邸をはじめとする歴史的建造物の保存・活用に向けた決意を伺う。

また、県との連帯を図りながら、積極的な取り組みをする姿勢に搖るぎはないか。5万人を超える署名、町民を裏切らない具体策を示していただきたい。

**定資産税の減免等は、まったく検討していないのか。**

**町長** 町単独で判断できないが、有益に執行する。減免の研究はしている。

**問** 町民を裏切らない、継続的・積極的な旧吉田邸保存の方針を示してほしい。

**広報** 7月号は吉田邸特集を。

問 全議員がパリアアフリル化事業には賛成しながら2回も否決された原因はどこ

## 大磯駅の改修工事はどうするのか

山口陽一



大磯駅木一△

# 駅バリアフリー化計画はいかに

山田 喜一

## JRに要望を口頭で申し入れ



大磯駅前

**町長** 担当部と役員・私で協議してきた。

**問** 町の政策決定と事業の点検管理はいかになされてるか。

**町長** 町行政の基本方針や重要施策などの決定は政策会議で行う。17年度は定期会議で行つて、臨時11回。メンバーは町四役と企画参事と4部

長の9人。事業の連絡協議は助役が長となり部長会議で行つて、議会に無修正で提案するに当たつて政策会議で検討を行つたか。特別委員会で委員から検討・改善点など

**問** 3月議会で否決されたJRに口頭で要望した「駅舎を残しエレベーターとエスカレーター設置」はアンケートもとらず、また計画前に議会や関係者と協議を行つていなかつた。

**問** 駅利用者の具体的な要望が計画に反映されていないのではないか。

**町長** 改めて検討すべきことではないと思う。

**問** その姿勢は議会決定の無視ではないか。バリアフリーア化計画を決定した経過、その資料と会議録など提示もない。政策会議はその場限りのものか、足跡が見えない。会議の透明性はゼロ。

**町長** 中井の公園が一番の人気。子どもたちにとって魅力的な公園を目指す考えは、中井の中央公園が一番の人気。子どもたちにとって魅

**町長** 中井の公園がどうして人気か研究し、運動公園に活かす必要性はある。

**町長** 大磯町には市民室内体育館が無い。作らないのか。

**教育次長** 町民の体力作り・スポーツ振興の観点から総合体育館があればと認識。

**問** 二宮町には体育館と室内の温水プール、武道館、町民運動場等、大磯町より充実。教育委員会にはスポーツ課が設置されている。

土橋 秀雄

## 運動公園野球場ナイター稼働率は可能日の使用率は32%

**問** 大磯運動公園の問題は、改めて検討すべきことではないか。

**問** その姿勢は議会決定の無視ではないか。バリアフリーア化計画を決定した経過、その資料と会議録など提示もない。政策会議はその場限りのものか、足跡が見えない。会議の透明性はゼロ。

**町長** 大磯町には市民室内体育館が無い。作らないのか。

**教育次長** 町民の体力作り・スポーツ振興の観点から総合体育館があればと認識。

**現状建設は難しい状況。** 大磯町と二宮町との体

**問** 育施設の違いは。

**問** 大磯町と二宮町との体

**教育次長** 二宮町には体育館と室内の温水プール、武道館、町民運動場等、大磯町より充実。教育委員会にはスポーツ課が設置されている。

**教育次長** 大磯町スポーツ行政の組織体制はいかに。

**教育次長** 生涯学習課のスポーツ班が担当。体育協会は19の競技部で向上・生涯

**教育次長** 員はスポーツ振興法に基づき教育委員会委嘱非常勤特別職員であり、行政機関やスポーツ団体が行う行事や事業に協力。実技指導・

**教育次長** スポーツ新興の指導助言いすれの団体も欠くことのできない存在である。



二宮町体育館

## 本町独自の教育のあり方は

### 健全で人間性豊かな子を育成

浅輪いつ子



大磯小学校

- 問** 本町独自の教育のあり方について、基本的な考え方と現場における実践は。
- 教育長** 主体的に対応できる能力を備え、健全で人間性豊かな子供たちを育てる。
- 幼・小・中の連携** 学習・防犯ボランティアの導入、懇談会など地域と連携し子供を大切にする教育をする。
- 問** 教育委員会として早急に取り組むべきことは。

**教育長** 幼稚園の教育内容の検討。幼・小・中の一層の連携。大磯中学校体育館、国府幼稚園、国府中学校B棟の耐震工事などがある。

**問** じっくり取り組む必要を感じていることは。

**教育長** 小・中学校の6・

- 問** 教育委員会として早急に取り組むべきことは。
- 教育長** 幼稚園の教育内容の検討。幼・小・中の一層の連携。大磯中学校体育館、国府幼稚園、国府中学校B棟の耐震工事などがある。
- 問** じっくり取り組む必要を感じていることは。
- 教育長** 小・中学校の6・

- 問** 3制や教科担任制の導入などの教育課程の検討である。
- 教育長** 幼稚園、小・中学校での教育と農業体験学習は、した食育の指導に取り組みたい。農業体験学習は幼・小で栽培収穫調理を学習。
- 問** 朝食を食べない子供は。
- 教育長** 磐小・磐中約6%、国小約2%、国中約16%。0%には家庭の協力が必要。
- 問** 学校給食の地産地消は。
- 教育長** 大磯産神奈川産を平均で31%導入している。
- 問** 問題行動を起こした児童・生徒への対応は。

- 問** 問題行動を起こした児童・生徒への対応は。
- 教育長** 未然防止、早期発見・対応が重要。教育目的に基づく判断と対応が基本。
- 問** じっくり取り組む必要を感じていることは。
- 教育長** 小・中学校の6・

- 問** 今年4月から、身体・知的・精神障害者の方を対象に、障害者自立支援の制度がスタートした。
- 問** 新たに導入された「障害程度区分認定」で、実態に合わない認定がされ、必要なサービスを受けられなくなるおそれがある。

- 問** また、一割の受益者負担により、「障害があるといふだけで、働くためにお金を払わなくてはならない」という状況が生まれる。低所得者対策は実情に合わない。

- 問** 2億円ほど出ると思われる17年度の繰越金を使い、町独自の施策を確立する考えはないか。

- 町長** 利用者負担軽減の独自施策は考えていない。障害者のニーズに応じた柔軟な施策を進めていきたい。

- 問** 当該地では、一度開発の許認可を受けている。県

- 代官山マンションについて**
- 町長** 利用者負担軽減の独自施策は考えていない。障害者のニーズに応じた柔軟な施策を進めていきたい。

- 問** 32条同意の失効宣言を。過

- 助役** 失効している。

- 問** 本町独自の教育のあり方について、基本的な考え方と現場における実践は。
- 教育長** 主体的に対応でき

- 問** 幼稚園、小・中学校での教育と農業体験学習は、した食育の指導に取り組みたい。農業体験学習は幼・小で栽培収穫調理を学習。
- 問** 朝食を食べない子供は。
- 教育長** 神奈川県で

- 障害者自立支援で町独自施策を**
- 負担軽減は考えていない**

鈴木 京子



障害福祉センター すばる

- 問** 事業者は、修正が必要は許認可の重複可との認識だが、事業者も新たな計画で進めるのこと。まちづくり条例の経過措置期間も過ぎてるので、前計画の過
- 町長** 事業者がどう進めるのか不安や危惧を感じる。開催を要求しようと思う。



## 成型品自動積出装置（美化センター）

## 町有財産の管理は適切か

柴崎  
茂

適切な管理に努めている

**問** 下水道整備の際、枝管  
整備の前後に町道にある杭  
といえるか。

算に復元の費用も計上され  
ていな。

**町長** 検討して適切な管理を抜くとき、また、復元の時、いずれも近隣立ち会いに努めている。

**都市整備部長** 今後は関係者立ち会いの上で行う。

**問** 官民境界かL字溝等が入って確定している場合で、例えば民の軒が町道へ出ている時、町はどのような措

**都市整備部長** 確定行為は  
関係者の立ち会いの上で行  
われる。杭はそのとおり入  
れるが障害の堀とかについ  
てできるだけ下がつてもら  
いたいと伝えるが、難しい  
状況だ。

**問** なぜ文書でしないのか。  
**都市整備部長** 今後、書面  
でやるかどうか検討したい。  
文書ですべきでしょ。

## 「障害者自立支援法の障害程度区分認定の改善を求める意見書」は可決

障害者自立支援法の障害程度区分認定の改善を求める意見書

本年4月から積極的に実施されている障害者自立支援法による新たな障害程度区分の認定は、知的障害者の利用できる福祉サービスを決定づけるとともに、事業者が利用者のニーズに応じたサービスを確保するうえで重要なものである。しかし、単純化的には利用者にとっては良いものであり、障害者の現実の生活にもまったく配慮がされていないものである。

また、事業者の実質的な公的資金の負担による開拓的な利用者へのサービス提供も然る所である。

さらに、この障害程度区分認定は、企画認定基準等ベースとしているため、身体条件以外の障害に対する個別の考慮を割り切れる仕組みとなっていないことが大きな問題である。

よって、障害者自立支援法の障害程度区分認定にあたり、知的障害者を対象とした障害程度区分の扶助金の見直しを強く要望する。

以上、地方分圧法第 98 条の規定により意見書を提出する。

平成 18 年 6 月 12 日

内閣總理大臣 小泉 純一郎 殿  
財務大臣 谷垣 順 殿  
厚生労働大臣 岩崎 一郎 殿

神奈川県中郡大磯町議会議長 木 博

る陳情

## ◆平成19年度の義務教育費 国庫負担制度の堅持を求め

◆ゆたかな教育を実現するため、平成19年度の教育予算増額を求める陳情

机上配布となつた陳情

執行委員長  
土谷正明氏

# ◆安全・安心の医療と看護の実現のため医師・看護師等の増員の意見書提出を求める陳情

意見書提出を求める陳情

# た陳情

陳情者 中地区教職員組合執行委員長 岩田裕之氏

## 情 護の実現のため医師・看護師等の増員の

# ◆JR大磯駅バリアフリーについての陳情 ◆大磯駅バリアフリー化に関する陳情書 ◆個人に応じた教育を実現するための学級規模の縮小・弾力化、 30人以下学級実現を求める陳情

陳情者  
阿野豊彦氏  
陳情者  
二宮文夫氏

# ◆障害者自立支援法障害程度区分判定についての陳情 採択となつた陳情

陳情者  
NOIXの会  
代表  
二宮明子氏

あなたの想いは、いりなりました

輝いてます

# 大磯人

ひと

竹芸家 藤塚 松星さん

長者町在住

と感じます。

梅雨の晴れ間の午後、長者町の国道から海側へ入ったところにお住まいの竹芸家、藤塚松星さんを訪問しました。

北海道出身の藤塚さんは、小学生の頃に父親の仕事の都合で大磯へ転居し、現在は作家活動をされながら、地元で祭囃子の保存など伝統芸能の伝承にも長年尽力されています。

星を見ることが好きな藤塚さんは20代の頃、天文関係の仕事に就きます。しかし、趣味を仕事にしたこと

るつもりが、先生の仕事を手伝ううちに、「自分でも竹と言う素材を使って何か表現できたら」と思うようになります。

の師との出会いが人生を決定付けました。」とおっしゃいます。

藤塚さんの作品は、実用的な花籠、茶道具から抽象的な壁面装飾、オブジェまで大変幅があります。

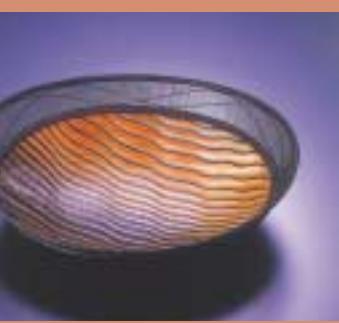
その代表的な作品に、日

本伝統工芸展で東京都知事賞を受賞された「夕波」という網代編(もりかこ)盛籃(もりかこ)写真)があります。

まだ見たこともない「藤塚ワールド」へと私たちをいざなってくれることを願ってやみません。

えるか、という視点の違いから、欧米の人々の心に新鮮な感動を与えるのではないでしょうか。

「竹という素材でどんな表現ができるか。既成の概念にとらわれず、これからもあらゆる可能性に挑戦していきたい。」とおっしゃる藤塚さん。



網代編盛籃「夕波」(文化庁所蔵)

9月定例会は  
9月1日(金)から  
開催します。



撮影 増尾 峰明 (作品共)

1949年 北海道に生まれる  
1994年 伝統工芸木竹展文化庁長官賞受賞  
1999年 日本の工芸「今」100選展招待出品(パリ)  
2005年 サンタフェ(アメリカ)にて個展開催

副議長

百瀬惠美子  
熊木博  
柴崎英  
高橋茂  
吉川喜  
山田俊  
坂重一  
田喜雄  
聖子

副議員長  
委員長  
副委員長  
委員

表紙の答  
西小磯 本郷山付近

議会だより編集委員

## 編集後記

大磯の浜辺では、色鮮やかなビーチパラソルの花が賑やかに咲き誇っています。目の前にきらめく青い海を臨むと、瞳がやさしく潤つていくようです。

私たち編集委員は、議会が終わってからも忙しい日が続きます。各委員は役割の原稿を書くために、何度もテープを聞きながら仕上げていきます。それを何日間もかけて、全委員で意見を出し合いながら、この「議会だより」は完成します。

皆様のご意見は、私たちの大きいなる励みになります。ぜひ、ご感想をお寄せください。